

日本語 能力测试

1级语法详解

彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍 编著

- 百分百掌握
- 战力大提升
- 一考就上榜

第2版



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

日本語 能力测试 1级语法详解

彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍 编著

● 百分百掌握

● 战力大提升

● 一考就上榜

第2版



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日本語能力测试 1 级语法详解/彭曦等编著.—2 版.
上海:华东理工大学出版社,2008.5

ISBN 978-7-5628-2289-9

I. 日... II. 彭... III. 日语-语法-水平考试-自学参
考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 047317 号

日本語能力测试 1 级语法详解(第 2 版)

编 著/彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍

策划编辑/王耀峰

责任编辑/常海霞

责任校对/金慧娟

封面设计/王晓迪

出版发行/华东理工大学出版社

地址:上海市梅陇路 130 号,200237

电话:(021)64250306(营销部) (021)64251904(编辑室)

传真:(021)64252707

网址:www.hdlgpress.com.cn

印 刷/上海长阳印刷厂

开 本/787 mm×960 mm 1/16

印 张/20

字 数/386 千字

版 次/2006 年 5 月第 1 版

2008 年 5 月第 2 版

印 次/2008 年 5 月第 1 次

印 数/12071—20120 册

书 号/ISBN 978-7-5628-2289-9/H·714

定 价/29.00 元

(本书如有印装质量问题,请到出版社营销部调换。)

前言

由日本国际教育协会主办的“日语能力测试”是衡量日语学习者学习水平的权威考试。该考试由(1)文字·词汇,(2)听力,(3)阅读·语法三个部分构成,总分400分,其中语法部分占100分。在1级考试中,各个部分的平均分数要达到70分,即总分要达到280分才能合格。

本书按照(日本)国际交流基金和日本国际教育协会编写的《日本语能力测试出题基准》改订版(凡人社,2002年)的要求,并结合我国日语学习者的实际情况,对1级测试中要求掌握的语法知识以及1991年以来的真题进行了系统详细的讲解分析。鉴于1级语法实际上是以句法为主,而一般的语法书往往将句法按功能分类,或按所接续的词语排列,因而常使得源于同一词语的句法被拆得七零八碎,极不便于学习掌握运用这一现状,本书采取了“以词法代句法”的编写方针,具体来说就是把源于同一词语的各种句法视为该词语的不同用法,以解析多义词方式来讲解句法。这样一来,句法不再是令人望而生畏的繁琐的东西,而变得简单易记。另外,为了让使用者检验自己的掌握情况,本书编写了10套模拟试题以供练习。日语学习者使用本书,不仅能深入透彻地理解历年真题的出题意图,提高答题的正确率,而且还能系统地掌握日语的语法知识。因此,本书不仅适合于日本语能力测试1级的应试者,同时对大学日语专业中高年级的学生以及中高级日语学习者来说也是一本必备的参考书。

本书由南京大学的彭曦、汪丽影,三江学院的赵明,扬州大学的夏建新,南京工业大学的方萍编著。华东理工大学出版社的王耀峰先生为本书的顺利出版提供了诸多方便,在此谨致谢意。

注:作者编写了1级语法最新试题讲解的Word文档,读者如需要请与编辑联系,mail: samwyf001@yahoo. com. cn。

编者 于南京大学逸夫馆

目录

第一部分 日语语法基础知识

一、日语的词类	1
二、用言以及助动词的活用	3
三、授受关系	25
四、敬语	28
五、助词用法一览表	37

第二部分 句法说明及历年真题详解

1 【あいまって】	41
2 【あがる】	42
3 【あげく】	43
4 【あたる】	43
5 【ある】	45
6 【いう】	48
7 【いうまでもない】	54
8 【いえども】	54
9 【いかにも】	55
10 【いかん】	56
11 【いざしらず】	58
12 【以上】	59
13 【いたる】	59
14 【一方】	61
15 【いられない】	62
16 【いわずもがな】	64
17 【うち】	65
18 【う/よう】	65
19 【おく】	67
20 【おかげで】	70
21 【おして】	70
22 【思いきや】	71
23 【思うと/思ったら】	72
24 【及ばない/及ばず】	73
25 【おろか】	74

26	【か】	75
27	【かい】	77
28	【かえりみる】	78
29	【欠かせない】	78
30	【かかわらず】	79
31	【かかる】	79
32	【かかわる】	81
33	【かぎる/かぎり/かぎって/かぎらない/かぎらず】	82
34	【かこつける】	85
35	【がたい】	85
36	【かたがた】	86
37	【かたくない】	86
38	【かたわら】	87
39	【がち】	88
40	【がてら】	89
41	【かな】	90
42	【かねない】	90
43	【から】	91
44	【からすると】	92
45	【からでない】	93
46	【からというもの】	94
47	【からには/からは】	94
48	【かわきり】	95
49	【かんする】	96
50	【きらいがある】	97
51	【きりがない】	98
52	【きれる/きれない/きれません】	98
53	【きわまりない】	99
54	【極まる】	100
55	【きわみ】	100
56	【禁じえない】	101
57	【くらい/ぐらい】	102
58	【くわえて】	104
59	【契機】	105

60	【心を打たれる】	106
61	【こす】	106
62	【こそ】	107
63	【こと】	110
64	【ごとき/ごとく】	114
65	【こととて】	115
66	【こめて】	116
67	【最後】	117
68	【さえ】	118
69	【先立つ】	119
70	【差し支える】	119
71	【ざる】	119
72	【さることながら】	120
73	【ざるをえない】	121
74	【し】	122
75	【しか】	123
76	【然るべき/然るべく】	123
77	【じまい】	124
78	【しまつ】	125
79	【ず(に)】	126
80	【すえ】	127
81	【すぎない】	127
82	【ずくめ】	128
83	【すます】	129
84	【すむ】	129
85	【すら】	130
86	【する】	131
87	【相違ない】	133
88	【即する】	134
89	【そば】	135
90	【対する】	136
91	【たえない】	137
92	【だけ】	138
93	【たとえ/たとえ…でも/たとえ…でも】	139

94	【だに】	140
95	【ため】	141
96	【だめでもともと/だめもと】	142
97	【たら】	143
98	【だらけ】	143
99	【たり】	144
100	【たりとも】	145
101	【たる】	146
102	【足る/足りる】	147
103	【つ】	148
104	【つい】	149
105	【っこない】	150
106	【つつ】	150
107	【って】	151
108	【つばい】	152
109	【つれて】	153
110	【であれ】	154
111	【であろうと】	154
112	【でなくてなんだろう】	155
113	【ては】	156
114	【てまえ】	157
115	【でも】	158
116	【といい】	159
117	【というところだ/といったところだ】	160
118	【といえども】	161
119	【といわず】	162
120	【同然】	162
121	【どうにも】	163
122	【ときたら/とくると】	164
123	【ところ】	165
124	【ところ(が)】	167
125	【どころか】	168
126	【ところで】	168
127	【どころではない/どころではなく】	170

128	【ところを】	171
129	【として】	171
130	【としても】	172
131	【とすれば/としたら】	173
132	【とて】	174
133	【とたん(に)】	175
134	【とどまる】	175
135	【となると】	176
136	【との】	176
137	【とは】	177
138	【とも】	178
139	【ともなく/ともなしに】	179
140	【ともなると/ともなれば】	180
141	【問わず】	182
142	【ないで】	183
143	【ながら/ながらも】	185
144	【ないことには/なくしては/なしに/なしには】	188
145	【なくはない】	191
146	【なら】	192
147	【ならでは】	194
148	【ならない/なりません/ならぬ/ならん】	195
149	【なり】	197
150	【なんて】	200
151	【なんという】	200
152	【なんの】	201
153	【にして】	202
154	【にしては】	204
155	【にしても】	204
156	【にせよ】	205
157	【にも】	206
158	【ぬき】	206
159	【のみ】	207
160	【のみか】	208
161	【のみならず】	209

162	【ばかり】	210
163	【はじめ】	215
164	【はじめて】	216
165	【はず】	216
166	【はなし】	217
167	【はやい】	218
168	【反する】	219
169	【反面】	220
170	【ひきかえ】	220
171	【ふう】	222
172	【ふまえる】	223
173	【べし】	224
174	【経る】	226
175	【ほか】	226
176	【ほど】	228
177	【まい】	229
178	【まじき】	231
179	【まし/まして】	232
180	【まで】	233
181	【まみれ】	239
182	【みせる】	239
183	【めく】	240
184	【めぐる】	241
185	【もって】	242
186	【もってのほか】	244
187	【もと】	245
188	【もの】	246
189	【ものなら】	248
190	【ものを】	250
191	【や】	250
192	【やまない】	252
193	【やら】	253
194	【ゆえに】	254
195	【よう】	256

196 【余儀ない】	257
197 【よそ】	259
198 【よる】	260
199 【わけ】	261
200 【わりに/わりと】	263

第三部分 模拟试题

模拟试题 1	264
模拟试题 2	267
模拟试题 3	271
模拟试题 4	275
模拟试题 5	278
模拟试题 6	282
模拟试题 7	285
模拟试题 8	289
模拟试题 9	292
模拟试题 10	296

模拟试题答案	300
--------------	-----

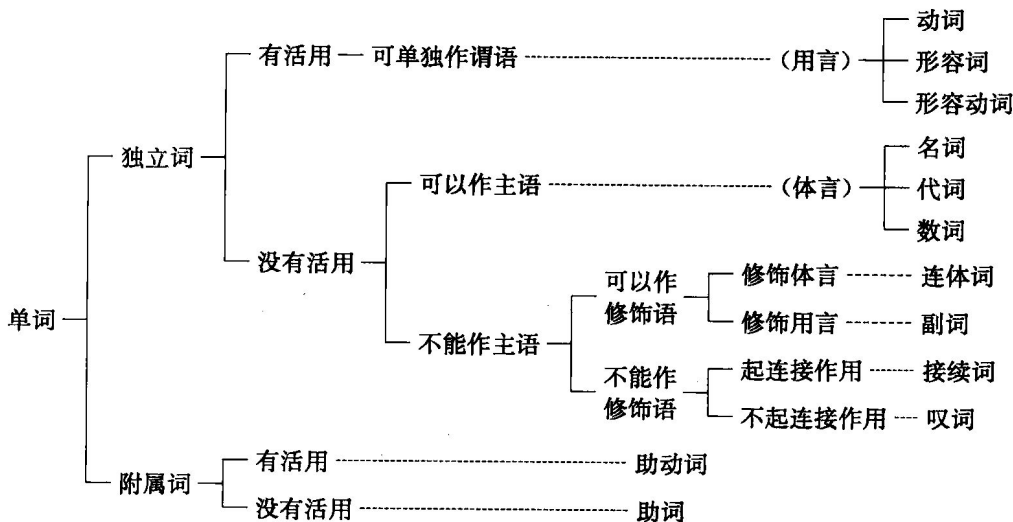
第一部分 日语语法基础知识

日语能力测试 1、2 级语法部分对用言、助动词的活用、授受关系以及敬语等方面的语法知识虽然没有什么特殊的要求,但这些内容在试题中随处可见。如果对这些知识没有一个系统的了解,想要提高答题的正确率是非常困难的。因此,本书在此部分首先对日语语法基础知识进行概括。使用者既可以先通读此部分,然后再去看各个句型,也可以在遇到疑难的时候进行参考。本部分内容如下:

- 一、日语的词类
- 二、用言以及助动词的活用
- 三、授受关系
- 四、敬语
- 五、助词用法一览表

一、日语的词类

日语中的词类称为“品词”,按其意义、形态和在句中的作用可分为以下 12 种:



根据旺文社编《标准国语辞典》(旺文社、1991 年)附录 6 中的资料整理而成

各种品词的定义及作用如下：

1. 名词：表示人以及事物名称的词。根据其表达的意思不同，又可分为固有名词（如：「^{とっきょうだいがく}東京大学」「^{なつめ そつせき}夏目漱石」）、普通名词（如：「^{やま いぬ}山」「犬」）、集合名词（如：「^{どうぶつ}動物」「^{くだもの}果物」）、抽象名词（如：「^{へいわ}平和」「^{あい}愛」「^{うんどう}運動」）等。
2. 代词：代替人以及事物的词。根据其表达的意思不同，又可分为人称代词（如：「わたし」「あなた」「^{かれ}彼」「^{かのしよ}彼女」）、事物代词（如：「これ」「それ」「あれ」）、场所代词（如：「ここ」「そこ」「あそこ」）、方向代词（如：「こちら」「そちら」「あちら」）、疑问代词（如：「どれ」「どこ」「だれ」「どちら」）。
3. 数词：表示数量以及顺序的词。其中表示数量的为基数词（如：「^{ひと}一つ」「^{さんにん}三人」「^ご五冊」），表示顺序的为序数词（如：「^{いちばん}一番」「^{にごう}二号」「^{だいよん}第四」）。
4. 动词：表示事物的存在、动作、作用或临时状态的词。按是否能够带宾语，可以分为他动词（如：「^の飲む」「^か買う」）和自动词（如：「^と飛ぶ」「^{あふ}溢れる」）；按活用规则的不同，可以分为五段、上下一段、力行变格、サ行变格动词。
5. 形容词：说明人或事物的性质或状态的词。词尾全都为「い」（如：「^{あつ}暑い」「^{さむ}寒い」）。
6. 形容动词：说明人或事物的性质或状态的词。其作用类似于形容词，而活用规则与动词相同，因此被称为形容动词。如：「^{まじめ}真面目だ」「^{りっぱ}立派だ」。
7. 副词：说明用言的状态或程度的词。根据其表达的意思不同，又可分为情态副词（如：「はつきり」）、程度副词（如：「ちょっと」）、陈述副词（如：「^{けつ}決して」）。
8. 连体词：说明体言的形态或程度的词。如：「この」「あらゆる」。
9. 接续词：介于词和词或句和句之间起连接作用的词。根据所接续的词句关系，又可分为顺接（如：「だから」）、逆接（如：「しかし」）、累加（如：「および」）、选择（如：「あるいは」）等。
10. 叹词：表示感动、呼吁、应答等意思的词，一般用于句首。如：「まあ、きれいだ」中的「まあ」，「はい、そうです」中的「はい」。
11. 助动词：接在用言以及体言之后，用来增添某种意义，或表示语言主体的判断、感动等的词。根据意义的不同，又可以分为被动（如：「れる・られる」）、可能、自发、尊敬（如：「れる・られる」）、使役（如：「せる・させる」）、郑重（如：「です」「ます」）、否定（如：「ない」「ぬ」）、过去（如：「た」）、推量（如：「う・よう」）、推定（如：「らしい」）、希望（如：「たい」）、样态、传闻（如：「そう」）助动词等；根据活用形式的不同，又可以分为动词形（如：「れる」「せる」）、形容词形（如：「たい」「らしい」）、形容动词形（如：「だ」「ようだ」）等。
12. 助词：附在独立词之后，表示词和词之间的关系，或表达某种意义、语感的词。根据作用的不同，又可以分为格助词（如：「が」「を」「から」）、接续助词（如：「ば」「ても」）。

「のに」)、并列助词(如:「と」「や」)、提示助词(如:「は」「も」)、副助词(如:「だけ」「など」「ばかり」)、终助词(如:「が」「ぜ」「わ」)。

另外,从单词的结构来看,还可以分为复合词(如:「^{とさんくつ}登山靴」「^{なだか}名高い」)、接头词(如:「お」「総」)、接尾词(如:「くん」「たち」)等。

二、用言以及助动词的活用

日语中有词尾变化,并可以单独作谓语的词被称为用言。用言包括动词、形容词、形容动词3类。用言活用是指日语中的动词、形容词、形容动词的词尾变化。用言的活用变化只限于词尾,不发生变化的部分叫做词干。有些用言没有词干和词尾的区别,如「^み見る・^ね寝る・^く来る・する」等。另外,助动词也有活用。活用的种类有6种,即未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形。

- (1) 未然形。因用来表示事态尚未发生而得此名。在现代日语中一般后续助动词「ない」「れる・られる」「せる・させる」「う・よう」等;在古语中一般后续助词「ば」以及助动词「ず」「む」「る・らる」「す・さす」「しむ」等。
- (2) 连用形。因可以后续用言而得此名。既可以后续用言(如:「^{しろ}白く^{ひか}光る」中的「白く」),也可以后续助动词「た」「ます」「たい」、助词「て」「たり」「ながら」等表示各种意思,以及表示句子的中顿(如:「^ひ日が^{しず}沈み、^{つき}月が^で出た」中的「沈み」),另外还可以使用用言名词化(如:「^{やす}休み」「^{とお}遠く」)。
- (3) 终止形。因可以单独结句而得此名。还可以后续助动词「そうだ」以及助词「と」「から」「けれど(も)」等。又可以称为“基本形”。
- (4) 连体形。因可以单独修饰体言而得此名。还可以后续助动词「ようだ」以及助词「の」「ので」「くらい」等。动词、形容词的连体形与其终止形相同,形容动词则有所不同。
- (5) 假定形。后续助词「ば」可以表示假定的活用形。不过,形容动词的假定形常将「ば」省略。
- (6) 命令形。可以单独结句,表示命令以及希望的活用形。只有动词才有命令形。

1 动词的活用

日语动词按照其形态和活用的规律可分为“五段活用动词”、“一段活用动词”、“サ行变格活用动词”、“力行变格活用动词”。其中“一段活用动词”以“ウ段”假名为基准,根据其词尾倒数第二个假名所在段的位置,又可分为“上一段活用动词”(如:「できる」(能、会)等)和“下一段活用动词”(如:「^{でか}出掛ける」(出门)等)。所谓“变格活用”是指不规则的词尾变

化。“サ行变格活用动词”又简称为“サ变动词”，“カ行变格活用动词”简称为“カ变动词”。

动词的原形称为“基本形”，辞典上所列的动词词条就是基本形。动词的活用是根据其在句子中的用法及后续词来决定的。动词的活用形及其用法大致如下：

五段动词活用表

		五 段 动 词									主要作用以及后续助动词、助词
活 用 形	行 名	ア (ワ)	カ	ガ	サ	タ	ナ	バ	マ	ラ	
	基本形	買う	書く	泳ぐ	話す	待つ	死ぬ	遊ぶ	読む	乗る	
	词 干	買	書	泳	話	待	死	遊	読	乗	
	未然形	わ	か	が	さ	た	な	ば	ま	ら	否定(ない・ず・ぬ); 被动(れる); 使役(せる)
		お	こ	ご	そ	と	の	ほ	も	ろ	意志(う)
	连用形 「ます」形 「て・た」形	い	き	ぎ	し	ち	に	び	み	り	连接用言; 构成敬语体(ます); 用作名词
		っ	い	い	し	っ	ん	ん	ん	っ	中顿(て); 简体过去时(た)
	终止形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	结句
形	连体形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	连接体言或体言性词语
	假定形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	假定(ば)
	命令形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	命令

一段动词活用表

		一 段 动 词								主要作用以及后续助动词、助词
		上 一 段				下 一 段				
	基本形	居る	見る	起きる	落ちる	出る	得る	食べる	育てる	
	词 干	(居)	(見)	起	落	(出)	(得)	食	育	

(续 表)

		一 段 动 词								主要作用以及后续 助动词、助词
		上 一 段				下 一 段				
活 用 形	未然形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	否定(ない・ず・ぬ); 被动(られる);使役(さ せる);意志(よう)
	连用形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	连接用言;敬语体(ま す);用作名词;中顿 (て);简体过去时(た)
	终止形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	用于结句
	连体形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	连接体言或体言性词语
	假定形	いれ	みれ	きれ	ちれ	でれ	えれ	べれ	てれ	假定(ば)
	命令形	いろ いよ	みろ みよ	きろ きよ	ちろ ちよ	でろ でよ	えろ えよ	べろ べよ	てろ てよ	命令

カ・サ行变格动词活用表

		カ行变格动词	サ行变格动词	主要作用以及后续助动词、助词
	基本形	来(く)る	為(す)る	
	词 干	来	為	
活 用 形	未然形	こ こ	さ・し・せ し	否定(ない・ず・ぬ);使役;被动; 意志(よう)
	连用形「ます」形 「て・た」形	き き	し し	连接用言;构成敬语体(ます) 用于中顿(て);构成简体过去时 (た)
	终止形	くる	する	用于结句
	连体形	くる	する	连接体言或体言性词语
	假定形	くれ	すれ	表示假定(ば)
	命令形	こい	しろ・せよ	表示命令

(1) 未然形

动词的未然形有很多用法,最常见的有后续「ない」表示否定;后续「なければならない」「なければいけない」「ねばならない」「ねばいけない」「なくてはならない」「なくてはいけない」等表示必须、必然、义务、强制等;后续「せる」「させる」表示使役;后续「れる・られる」表示被动、可能、尊敬、自发;还可后续「う・よう」表示推量或意志。例如:

① 表示否定

- ◎ 見るだけで買わない(只看^み不买^か)。
- ◎ 私は生魚を食べない(我不吃^{わたし}生鱼^{なまぎかな}不^た吃^た生鱼)。
- ◎ あの人が来ないと思います(我想那个人不会来了^{ひと}。)。
- ◎ あの子は全然勉強しない(那孩子根本就不学习^こ。)。

② 表示必须

- ◎ 君が行かなければいけない(你必须去^{きみ}。)。

③ 表示使役

- ◎ 学生に作文を書かせる(让学生写作文^{がくせい}。)。
- ◎ 病人に重湯を食べさせる(给病人喂粥汤^{びょうにん}。)。
- ◎ 弟子を自宅にこさせて稽古をつける(让弟子到家里来练习^{でし}。)。
- ◎ 宿題を忘れた生徒を残して勉強させる(把忘记写作业的学生留下来,让他们学习^{しゅくだい}。)。

④ 表示被动

- ◎ お金を泥棒にごっそり盗まれた(钱被小偷偷得精光^{かね}。)。
- ◎ 友達に日記を見られた(日记被朋友看了^{ともだち}。)。
- ◎ 受験勉強中、友達に来られた(正在考试复习,却来了朋友^{じゅけんべんきょうちゅう}。)。
- ◎ 警察に監視されている(被警察监视着^{けいさつ}。)。

⑤ 表示可能

- ◎ 英語が読まれる(能看懂英语^{えいご}。)。

注意:五段动词后续表示可能的助动词「れる」时,一般都用约音,即将动词未然形「あ」段假名和「れ」约音成「え」段假名。如:(読む→読まれる→読める)。

- ◎ 一時ほどの元氣は見られない(看不到以前的锐气^{いちじ}。)。
- ◎ 明日、用事があるので来られない(明天我有事,来不了^{あす}。)。